



ダーウィン! 図書館

cgi2.nhk.or.jp/darwin/broadcasting/detail.cgi?sp=p281

281回 美しき狩人 “花”になったカマキリ

2012年7月22日(日) 午後7時30分~



射程圏内に入るやいなや...



この放送回の関連ページ

- 予告動画
- 内容本文
- ウラ日記
- 壁紙

放送予定

総合
6月12日(日)
午後7時30分~8時00分
「常識はずれ! タテガミを捨てたライオン」

総合
6月14日(火)
午後4時20分~4時50分
「常識はずれ! タテガミを捨てたライオン」

NHKから提供できるものとしては最新の情報です。ただし緊急の変更時には更新されない場合があります。

赤道直下の国、インドネシア。東西に長くのびるジャワ島の草むらには、美しくも恐ろしい狩人・ハナカマキリがすんでいます。その名の通り、姿は可憐な花そのもの。全身、白とピンクのきれいな色合いで、平べったい脚やお腿は花びらのよう。とがった両目とその間にある一本の角は、おしべとめしべにそっくりです。

さらに驚くべきことに、花と同じように紫外線を吸収することで、紫外線を見ることができるといわれています。こうして花になりすまし、ミツバチやヒラタアブといった花に集まる虫たちを誘い込み、捕まえるのです。

ハイスピードカメラで撮影すると、狩りの速さはなんと0.03秒! 驚異的な速さです。映像を分析すると、花になりきるハナカマキリは微動だにせず、虫たちが射程圏内に入るのをじっと待ちます。

一方、虫たちは完全にだまされ、脚を伸ばしてカマキリにとまろうとさえしていました。さらに顕微鏡を続けると、不思議なことに気が付きます。虫たちは決まってハナカマキリの正面に吸い寄せられるように集まってくるのです。いったいなぜ、よりによって一番危険な正面に近づくのでしょうか? 研究者とともに徹底検証すると、驚きの新事実が分かりました。なんとハナカマキリは昆虫をおびき寄せせるにおいを正面に向けて出しているというのです。番組ではハナカマキリの狩りのスゴ技の数々を最新のカメラで明らかにします。